

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6005621号
(P6005621)

(45) 発行日 平成28年10月12日 (2016. 10. 12)

(24) 登録日 平成28年9月16日 (2016. 9. 16)

(51) Int. Cl.	F I
HO4N 1/00 (2006.01)	HO4N 1/00 C
GO6F 3/0484 (2013.01)	GO6F 3/0484 120
GO6F 3/0489 (2013.01)	GO6F 3/0489 170
B41J 29/42 (2006.01)	B41J 29/42 F
B41J 29/38 (2006.01)	B41J 29/38 Z
請求項の数 3 (全 11 頁) 最終頁に続く	

(21) 出願番号 特願2013-246205 (P2013-246205)
 (22) 出願日 平成25年11月28日 (2013. 11. 28)
 (65) 公開番号 特開2015-106719 (P2015-106719A)
 (43) 公開日 平成27年6月8日 (2015. 6. 8)
 審査請求日 平成27年9月25日 (2015. 9. 25)

(73) 特許権者 000006150
 京セラドキュメントソリューションズ株式会社
 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号
 (74) 代理人 100097113
 弁理士 堀 城之
 (74) 代理人 100162363
 弁理士 前島 幸彦
 (72) 発明者 新谷 典久
 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号
 京セラドキュメントソリューションズ株式会社内
 審査官 橋爪 正樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 画像形成装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の画面の表示領域を分割して、分割された一方の表示領域に第3の画面を表示し、分割された他方の表示領域に第2の画面を表示可能な表示手段を備えた画像形成装置であって、

前記第1の画面でユーザーの操作を受け付けているときに、画面分割操作がされると、前記第1の画面の表示内容と前記第2の画面の表示内容に応じて前記第1の画面の表示領域を分割して、分割された一方の表示領域に前記ユーザーの操作を継続して受け付け可能な前記第1の画面のサイズを変化させた第3の画面を表示させ、分割された他方の表示領域に前記第3の画面と同時に操作を受け付け可能な前記第2の画面を表示させるように前記表示手段を制御する画面分割処理手段と、

画面の表示内容に応じて優先度が設定された優先度設定テーブルとを備え、

前記画面分割処理手段は、

前記画面分割操作がされた直後に操作されたキーに応じた表示内容で前記第2の画面を表示し、

前記優先度設定テーブルを参照して、前記第2の画面の前記表示内容の前記優先度と前記第3の画面の前記表示内容の前記優先度との比率になるように、前記第2の画面の表示領域と前記第3の画面の表示領域を変更し、

前記第2の画面の前記表示内容又は前記第3の画面の前記表示内容が変わったかを監視して、前記表示内容が変わる度に、前記第2の画面の現在の表示内容の前記優先度と前記

第3の画面の現在の表示内容の前記優先度との比率になるように、前記第2の画面の表示領域と前記第3の画面の表示領域を動的に変更し、

前記第2の画面の前記表示内容の前記優先度と前記第3の画面の前記表示内容の前記優先度とが同率の場合、前記第2の画面の表示領域と前記第3の画面の表示領域とを等しい大きさにする

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記第1又は第3の画面で受け付けたジョブを実行中に、前記実行中のジョブと並列処理不可能なジョブが前記第2の画面で入力された場合に、入力された前記ジョブを前記実行中のジョブの終了後に実行される予約ジョブとして受け付ける制御手段を備えた

10

ことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記制御手段は、

前記第1又は第3の画面で受け付けたジョブを実行中にジャムが発生し、前記第3の画面にジャム処理ガイダンスが表示されている場合に、前記第2の画面で前記ジャムに影響しないジョブが入力されたときに、前記第2の画面で入力されたジョブを前記ジャムの処理と並列して実行し、前記第2の画面で前記ジャムに影響するジョブが入力されたときに、前記第2の画面で入力されたジョブを前記ジャムの処理終了後に実行される予約ジョブとして受け付ける

ことを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、画面を分割表示可能な表示手段を備えた画像形成装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、画像形成装置には、画像形成装置の設定や動作指示を受け付ける操作部が設けられている。操作部には、タッチパネル式の表示部を備えたものがあり、表示部により、画像形成装置の状態を示したり、画像形成状況や印刷部数を表示したり、タッチパネルとして、両面印刷や白黒反転等の機能や倍率設定、濃度設定など各種設定を行えるようになっている。

30

【0003】

また、画像形成装置の中には、複数のジョブを並列して実行できるものがあり、画面を分割表示して、分割された画面のそれぞれでジョブの状況を表示したり、ユーザーからの指示を受け付けたりする技術が提案されている（例えば、特許文献1を参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2005-119138号公報

【発明の概要】

40

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特許文献1の技術では、画面を分割表示したときに、画像形成装置のシステム設定作業やアドレス帳の登録作業などのように、入力に時間が掛かる作業についても分割された小さな画面で行わなければならない、操作性が悪かった。

【0006】

本発明は上記課題に鑑みてなされたものであり、上記課題を解決する技術を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

50

本発明の画像形成装置は、第1の画面の表示領域を分割して、分割された一方の表示領域に第3の画面を表示し、分割された他方の表示領域に第2の画面を表示可能な表示手段を備えた画像形成装置であって、前記第1の画面でユーザーの操作を受け付けているときに、画面分割操作がされると、前記第1の画面の表示内容と前記第2の画面の表示内容に応じて前記第1の画面の表示領域を分割して、分割された一方の表示領域に前記ユーザーの操作を継続して受け付け可能な前記第1の画面のサイズを変化させた第3の画面を表示させ、分割された他方の表示領域に前記第3の画面と同時に操作を受け付け可能な前記第2の画面を表示させるように前記表示手段を制御する画面分割処理手段と、画面の表示内容に応じて優先度が設定された優先度設定テーブルとを備え、前記画面分割処理手段は、前記画面分割操作がされた直後に操作されたキーに応じた表示内容で前記第2の画面を表示し、前記優先度設定テーブルを参照して、前記第2の画面の前記表示内容の前記優先度と前記第3の画面の前記表示内容の前記優先度との比率になるように、前記第2の画面の表示領域と前記第3の画面の表示領域を変更し、前記第2の画面の前記表示内容又は前記第3の画面の前記表示内容が変わったかを監視して、前記表示内容が変わる度に、前記第2の画面の現在の表示内容の前記優先度と前記第3の画面の現在の表示内容の前記優先度との比率になるように、前記第2の画面の表示領域と前記第3の画面の表示領域を動的に変更し、前記第2の画面の前記表示内容の前記優先度と前記第3の画面の前記表示内容の前記優先度とが同率の場合、前記第2の画面の表示領域と前記第3の画面の表示領域とを等しい大きさにすることを特徴とする。

10

また、前記第1又は第3の画面で受け付けたジョブを実行中に、前記実行中のジョブと並列処理不可能なジョブが前記第2の画面で入力された場合に、入力された前記ジョブを前記実行中のジョブの終了後に実行される予約ジョブとして受け付ける制御手段を備えてもよい。

20

また、前記制御手段は、前記第1又は第3の画面で受け付けたジョブを実行中にジャムが発生し、前記第3の画面にジャム処理ガイダンスが表示されている場合に、前記第2の画面で前記ジャムに影響しないジョブが入力されたときに、前記第2の画面で入力されたジョブを前記ジャムの処理と並列して実行し、前記第2の画面で前記ジャムに影響するジョブが入力されたときに、前記第2の画面で入力されたジョブを前記ジャムの処理終了後に実行される予約ジョブとして受け付けてもよい。

【発明の効果】

30

【0008】

本発明によれば、状況に応じた割合で画面を分割表示して、分割表示された画面における操作性を向上させることができる技術を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明に係る実施形態の画像形成装置の断面模式図である。

【図2】図1に示す画像形成装置の概略構成図を示す図である。

【図3】図2に示す優先度設定テーブルの設定例を示す図である。

【図4】図2に示す画面分割処理部の処理の流れを示すフローチャートである。

【図5】分割表示された画面を示すイメージ図である。

40

【発明を実施するための形態】

【0010】

次に、本発明の実施の形態を、図面を参照して具体的に説明する。

本発明の実施の形態の画像形成装置100は、複写機能、印刷機能、スキャナー機能等を有する複合機であり、図1を参照すると、原稿読取部120と、原稿給送部130と、本体部140とを備えている。原稿読取部120は、本体部140の上部に配設され、原稿給送部130は、原稿読取部120の上部に配設されている。また、画像形成装置100の前面側には、画像形成装置100の設定や動作指示を行う操作部5が配設されている。

【0011】

50

操作部 5 には、表示部 5 1 と操作ボタン 5 2 が設けられている。操作ボタン 5 2 には、印刷枚数等の数値を入力するためのテンキー、設定情報を初期化させる指示を入力するためのリセットキー、複写動作を停止させたり、入力された数値を消去させたりするためのストップキー、印刷動作を開始させる出力指示を入力するためのスタートキー等の常設操作キーと、表示部 5 1 の画面を分割表示する指示を入力するための画面分割キーが設けられている。

【 0 0 1 2 】

また、操作部 1 0 は、モード切替キーとして、コピー機能を指示するコピーキーと、スキャナー機能を指示するスキャナーキーと、印刷機能を指示する印刷キーとを備え、これらのモード切替キーによって指示された機能モードに対応する操作画面が表示部 5 1 に表示される。なお、コピー機能は、原稿読取部 1 2 0 によって読み取った原稿 M S の画像データを、本体部 1 4 0 によって記録紙 P に印刷するモードである。また、スキャナー機能は、原稿読取部 1 2 0 によって読み取った原稿 M S の画像データを、記憶手段に記憶させたり、ネットワーク経由で送信（ファクシミリ送信等）したりするモードである。さらに、印刷機能は、記憶手段に記憶されている画像データを、本体部 1 4 0 によって記録紙 P に印刷するモードである。

【 0 0 1 3 】

表示部 5 1 は、操作入力を受け付ける各種操作キーを表示する表示パネルと、表示部 5 1 の表示面に設けられ、操作者の指先やスタイラス等の押圧によるタッチ入力を検知し、タッチ入力が検知された位置に対応する信号を出力することで、表示部 5 1 に表示された操作キーへの操作を受け付けるタッチパネルとを備えている。表示パネルとしては、例えば液晶表示パネルが用いることができる。また、タッチパネルとしては、例えば抵抗膜方式や静電容量方式等を用いることができる。

【 0 0 1 4 】

表示部 5 1 は、画面を分割表示可能に構成されている。具体的には、表示部 5 1 は、不図示の画面分割キーが押されると、表示部 5 1 の表示領域を左右に分割して、分割した表示領域にそれぞれ画面を表示する。表示部 5 1 は、それぞれの画面でユーザーからの操作を同時に受け付けることができ、操作を受け付けた画面で、画像形成装置 1 0 0 の状態を示したり、画像形成状況や印刷部数を表示したり、タッチパネルとして、両面印刷や白黒反転等の機能や倍率設定、濃度設定など各種設定を行えるようになっている。なお、表示部 5 1 の表示領域は、画面分割キーが押されたときに、上下に分割されてもよいし、3 つ以上に分割されてもよい。

【 0 0 1 5 】

原稿読取部 1 2 0 は、スキャナー 1 2 1 と、プラテンガラス 1 2 2 と、原稿読取スリット 1 2 3 とを備えている。スキャナー 1 2 1 は、露光ランプ及び C C D (Charge Coupled Device) センサー等から構成され、原稿給送部 1 3 0 による原稿 M S の搬送方向に移動可能に構成されている。プラテンガラス 1 2 2 は、ガラス等の透明部材により構成された原稿台である。原稿読取スリット 1 2 3 は、原稿給送部 1 3 0 による原稿 M S の搬送方向と直交方向に形成されたスリットを有する。

【 0 0 1 6 】

プラテンガラス 1 2 2 に載置された原稿 M S を読み取る場合には、スキャナー 1 2 1 は、プラテンガラス 1 2 2 に対向する位置に移動され、プラテンガラス 1 2 2 に載置された原稿 M S を走査しながら原稿 M S を読み取って画像データを取得する。また、原稿給送部 1 3 0 により搬送された原稿 M S を読み取る場合には、スキャナー 1 2 1 は、原稿読取スリット 1 2 3 と対向する位置に移動され、原稿読取スリット 1 2 3 を介し、原稿給送部 1 3 0 による原稿 M S の搬送動作と同期して原稿 M S を読み取って画像データを取得する。

【 0 0 1 7 】

原稿給送部 1 3 0 は、原稿載置部 1 3 1 と、原稿排出部 1 3 2 と、原稿搬送機構 1 3 3 とを備えている。原稿載置部 1 3 1 に載置された原稿 M S は、原稿搬送機構 1 3 3 によって、1 枚ずつ順に繰り出されて、原稿読取部 1 2 0 の原稿読取スリット 1 2 3 に対向する

10

20

30

40

50

位置へ搬送され、その後、原稿排出部 132 に排出される。なお、原稿給送部 130 は、可倒式に構成され、原稿給送部 130 を上方に持ち上げることで、プラテンガラス 122 の上面を開放させることができる。

【0018】

本体部 140 は、画像形成部 150 を備えると共に、給紙部 160 と、搬送路 170 と、搬送ローラー 181 と、排出口ローラー 182 と、画像形成装置 100 の胴内排出空間に設けられた胴内排出トレイ 190 とを備えている。

【0019】

給紙部 160 は、記録紙 P を収納する複数の給紙カセット 161 a ~ d と、給紙カセット 161 a ~ d から記録紙 P を一枚ずつ搬送路 170 に繰り出す給紙ローラー 162 とを備えている。給紙ローラー 162、搬送ローラー 181 及び排出口ローラー 182 が搬送部として機能し、記録紙 P が搬送される。給紙ローラー 162 によって搬送路 170 に繰り出された記録紙 P は、搬送ローラー 181 によって画像形成部 150 に搬送される。そして、画像形成部 150 によって記録が施された記録紙 P は、排出口ローラー 182 に導かれて胴内排出トレイ 190 に印刷物として出力される。なお、本実施の形態では、4 個の給紙カセット 161 a ~ d が備えられている。

10

【0020】

画像形成部 150 は、感光体ドラム 151 と、帯電部 152 と、露光部 153 と、現像部 154 と、転写部 155 と、クリーニング部 156 と、定着部 157 とを備えている。露光部 153 は、レーザー装置やミラー等を備えた光学ユニットであり、画像データに基づいてレーザー光を出力して、帯電部 152 によって帯電された感光体ドラム 151 を露光し、感光体ドラム 151 の表面に静電潜像を形成する。現像部 154 は、トナーを用いて感光体ドラム 151 に形成された静電潜像を現像する現像ユニットであり、静電潜像に基づいたトナー像を感光体ドラム 151 上に形成させる。転写部 155 は、現像部 154 によって感光体ドラム 151 上に形成されたトナー像を記録紙 P に転写させる。定着部 157 は、転写部 155 によってトナー像が転写された記録紙 P を加熱してトナー像を記録紙 P に定着させる。

20

【0021】

図 2 を参照すると、画像形成装置 100 の操作部 5、原稿読取部 120、原稿給送部 130、画像形成部 150 及び搬送部（給紙ローラー 162、搬送ローラー 181、排出口ローラー 182）は、制御部 1 に接続され、制御部 1 によって動作制御される。また、制御部 1 には、ファクシミリ部 2 と、記憶部 3 と、画像処理部 4 とが接続されている。

30

【0022】

ファクシミリ部 2 は、モデムを有し、原稿読取部 3 によって読み取られた画像データや、記憶部 4 に記憶されている画像データからファクシミリ信号を生成し、生成したファクシミリ信号を電話回線網等のネットワークを介して送信するファクシミリ送信機能と、電話回線網等のネットワークを介してファクシミリ信号を受信するファクシミリ受信機能とを備えている。

【0023】

記憶部 3 は、原稿読取部 120 によって原稿を読み取ることで取得された画像データ、ファクシミリ部 2 によって受信された画像データなどが記憶される、半導体メモリや HDD (Hard Disk Drive) 等の記憶手段である。また、記憶部 3 には、分割表示されたときの画面の優先度を画面の表示内容に応じて設定するための優先度設定テーブル 32 が記憶されている。

40

【0024】

図 3 は、優先度設定テーブル 32 の設定例を示した図である。優先度設定テーブル 32 では、画面の表示内容と優先度とが関連付けて記憶される。優先度は、1 ~ 9 に設定することができ、数字の大きいほうが優先度が高いものとする。ここでは、表示内容がシステム設定、アドレス帳登録、及びソフトウェアキーボードに関する場合の優先度が「8」に設定され、コピー機能や FAX 機能に関する場合の優先度が「2」に設定されている。画

50

面分割されたときに、分割表示されたそれぞれの画面の表示領域は、画面に表示される表示内容の優先度に応じて決まる。例えば、一方の画面の表示内容がシステム設定で、他方の画面の表示内容がコピー機能である場合、システム設定の優先度が「8」でコピー機能の優先度が「2」なので、8：2の比率で表示領域が分割される。システム設定画面は「8」の割合の表示領域に表示され、コピー機能画面は「2」の割合の表示領域に表示される。そのため、システム設定やアドレス帳登録などのように入力作業に時間が掛かる表示内容について、優先度を高く設定することで、分割表示されたときの表示領域を大きくさせることができる。なお、優先度設定テーブル32の各設定項目は、操作部5を介してユーザーが設定可能である。

【0025】

制御部1は、ROM (Read Only Memory)、RAM (Random Access Memory)等を備えたマイクロコンピュータ等の情報処理部である。ROMには画像形成装置100の動作制御を行うための制御プログラムが記憶されている。制御部1は、ROMに記憶されている制御プログラムを読み出し、制御プログラムをRAMに展開させることで、操作部5から入力された所定の指示情報に応じて装置全体の制御を行う。また、制御部1は、画面分割操作が行われたときに、画面の分割割合を優先度設定テーブル32に設定された優先度に従って分割する画面分割処理部11として機能する。

【0026】

具体的に、図4を参照して、画面分割処理の流れを説明する。

【0027】

制御部1は、表示部51の表示領域に第1の画面を1画面表示させ、第1の画面でユーザーからの操作を受け付けている(ステップs11)。画面分割処理部11は、不図示の画面分割キーが押されるなどの画面分割操作がされるまで待機しており(ステップs12でNo)、画面分割操作がされると(ステップs12でYes)、優先度設定テーブル32を参照して、今まで表示していた第1の画面の表示内容の優先度と、新たに表示する第2の画面の表示内容の優先度を取得する(ステップs13)。なお、画面分割操作において、分割表示キーが押された直後に、コピーキーやFAXキーなどが操作されると、新たに表示する第2の画面の表示内容が、操作されたキーに応じてコピー機能やFAX機能に対する操作を受け付ける画面となる。

【0028】

つづいて、画面分割処理部11は、第1の画面の表示内容の優先度と第2の画面の表示内容の優先度の比率に対応して表示部51の表示領域を2分割する(ステップs14)。つづいて、画面分割処理部11は、表示部51を制御して、分割された表示領域に合わせて第1の画面のサイズを変化させた第3の画面と、新たに表示する第2の画面とを優先度に応じた割合の表示領域に表示させる(ステップs15)。第3の画面は、第1の画面におけるユーザーの操作を継続して受け付け可能な画面であり、例えば第1の画面が縮小された画面である。また、第3の画面と第2の画面とは、ユーザーからの操作を同時に受け付け可能に表示される。

【0029】

例えば、図5(a)に示すように、1画面表示されたシステム設定画面80(第1の画面)でユーザーからの操作を受け付けているときに、コピージョブの受付を指示する画面分割操作が行われたとする。システム設定画面80では、ユーザー管理や画像形成装置100のデフォルト動作などの各種設定の操作を受け付け可能であるため、複数項目の設定が行われ、時間が掛かることが多い。図3に示す優先度設定テーブル32では、システム設定の優先度が「8」に設定され、コピー機能の優先度が「2」に設定されている。そのため、システム設定画面80の表示領域が左右8：2の割合で2分割され、図5(b)に示すように、8の割合に分割された左側の表示領域にシステム設定画面80'(第3の画面)が表示され、2の割合に分割された右側の表示領域にコピー画面81(第2の画面)が表示される。画面分割されてもシステム設定画面80'の大きさがある程度確保されるため、設定作業が行いやすくなる。なお、図5(c)に示すように、分割された表示領域

10

20

30

40

50

のそれぞれにFAX画面82とコピー画面83が表示される場合、それぞれの優先度の割合が2:2なので、それぞれの表示領域は等しい大きさとなる。

【0030】

画面分割処理部11は、第2の画面又は第3の画面の表示内容が変わったか監視しており(ステップs16でNo)、表示内容が変わると(ステップs16でYes)、優先度設定テーブル32を参照して、第2の画面の表示内容の優先度と第3の画面の表示内容の優先度を取得する(ステップs17)。つづいて、画面分割処理部11は、第2の画面の表示内容の優先度と第3の画面の表示内容の優先度の比率に対応して、第2の画面の表示領域と第3の画面の表示領域とを動的に変更し(ステップs18)、第2の画面と第3の画面を優先度に応じた割合の表示領域に表示する(ステップs19)。

10

【0031】

つづいて、画面分割処理部11は、分割表示が終了したか判定し(ステップs20)、終了していなければ(ステップs20でNo)、ステップs16に処理を戻し、終了していれば(ステップs20でYes)、本処理を終了する。

【0032】

以上説明したように、画面分割処理部11は、画面を分割表示するとき、優先度設定テーブル32を参照して、1画面で表示されていた第1の画面の表示内容と新たに表示される第2の画面の表示内容に応じて第1の画面の表示領域を分割して、分割されたそれぞれの表示領域に第1の画面のサイズを変化させた第3の画面と第2の画面を同時操作可能に表示させる。そのため、一方のユーザーが第1の画面で時間の掛かる操作を行っていても、分割表示された第3の画面で表示領域が確保された状態で操作を継続でき、また、並行して他方のユーザーが第2の画面で操作を行うことができる。

20

【0033】

本発明は上述した実施の形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々様々に変更が可能であることは言うまでもない。

【0034】

例えば、制御部1は、分割表示されたそれぞれの画面で操作された指示を並列に処理できない場合、一方の画面の処理が終了した後で、他方の画面の処理を行えばよい。例えば、制御部1は、第1又は第3の画面で受け付けた操作により、給紙部160を使用したジョブを実行中に、第2の画面で給紙部160を利用したコピー機能のジョブが入力された場合、給紙部160が使用中で並列処理不可能なジョブのため、予約ジョブとして受け付けてもよい。制御部1は、第1又は第3の画面で受け付けたジョブの処理が終了した後に、予約ジョブを実行するようにしてもよい。

30

【0035】

また、第1又は第3の画面で受け付けたジョブを実行中に、自動給紙機構である原稿搬送機構133にジャムが発生した場合には、そのジャムを解消するためのジャム処理手順を示すガイダンスが第3の画面に表示される。制御部1は、第3の画面にジャム処理ガイダンスが表示されている場合に、発生中のジャムに影響するジョブが第2の画面で入力された場合も、予約ジョブとして受け付けてもよい。例えば、ジャムが原稿搬送機構133で発生している場合に、原稿搬送機構133を利用するFAXジョブが第2の画面で入力された場合、制御部1は、FAXジョブを予約ジョブとして受け付け、ジャム解消後に予約ジョブを実行してもよい。また、ジャムが給紙部160で発生している場合に、給紙部160を利用する印刷ジョブが第2の画面で入力された場合も、制御部1は、印刷ジョブを予約ジョブとして受け付けてもよい。なお、ジャムが原稿搬送機構133で発生している場合に、給紙部160を利用する印刷ジョブが第2の画面で入力された場合や、ジャムが給紙部160で発生している場合に、原稿搬送機構133を利用するFAXジョブが第2の画面で入力された場合、発生中のジャムに影響しないジョブであるので、制御部1は、第2の画面で入力されたジョブを受け付けて、即時に実行してもよい。

40

【0036】

また、優先度設定テーブル32では、表示内容が画像形成状況である場合の優先度が低

50

く（例えば、「1」や「2」）設定されてもよい。また、例外的に、エラー画面が表示されるときは、1画面で表示されるようにしてもよい。

【0037】

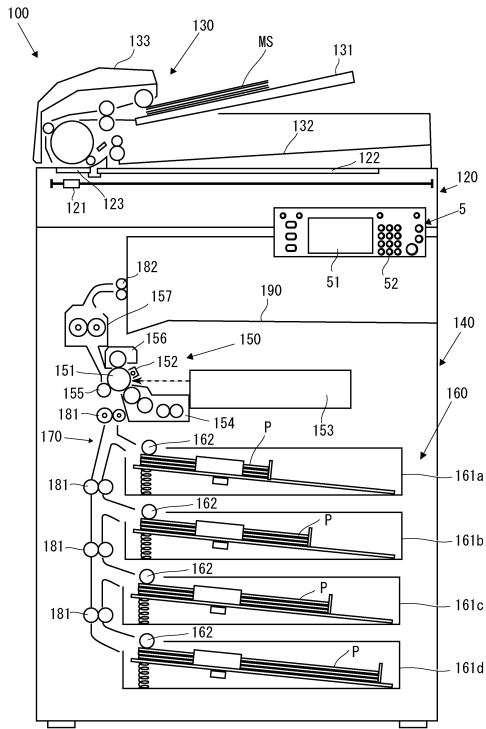
また、分割する表示内容の優先度の比率で分割比率を求め、表示する大きさを設定するものに限らず、分割する表示内容の優先度の比率によらず、予め設定された分割比率で、優先度の高い表示内容を低いものより大きくし表示するようにしてもよい。

【符号の説明】

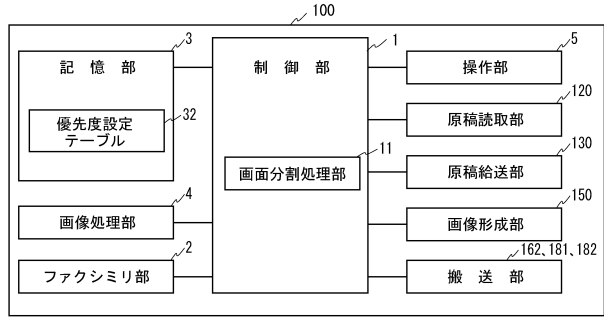
【0038】

1	制御部	
2	ファクシミリ部	10
3	記憶部	
4	画像処理部	
5	操作部	
11	画面分割処理部	
32	優先度設定テーブル	
51	表示部	
52	操作ボタン	
100	画像形成装置	
120	原稿読取部	
121	スキャナー	20
122	プラテンガラス	
123	原稿読取スリット	
130	原稿給送部	
131	原稿載置部	
132	原稿排出部	
133	原稿搬送機構	
140	本体部	
150	画像形成部	
151	感光体ドラム	
152	帯電部	30
153	露光部	
154	現像部	
155	転写部	
156	クリーニング部	
157	定着部	
160	給紙部	
161	a ~ d 給紙カセット	
162	給紙ローラー	
170	搬送路	
181	搬送ローラー	40
182	排出口ローラー	
190	胴内排出トレイ	

【図1】



【図2】



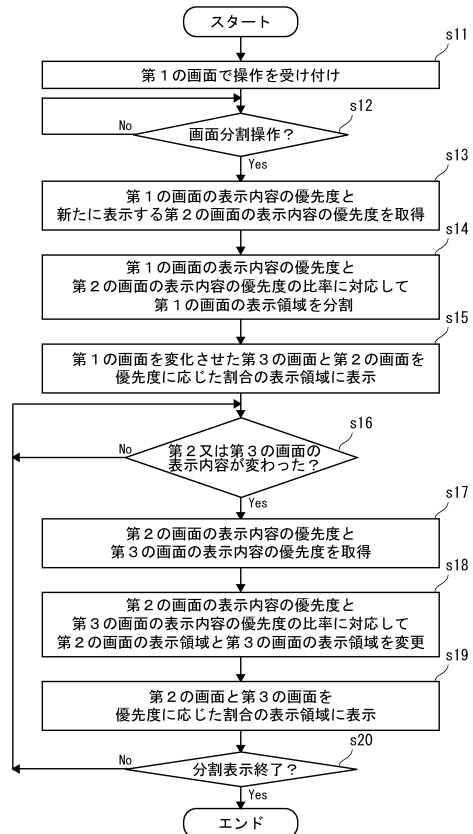
【図3】

32

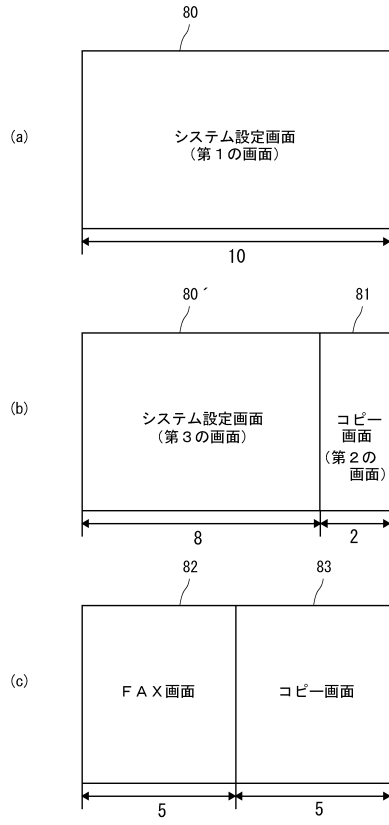
優先度設定テーブル

表示内容	優先度
システム設定	8
アドレス帳登録	8
コピー機能	2
FAX機能	2
ソフトウェアキーボード	8
...	...

【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I
G 0 3 G 21/00 (2006.01) G 0 3 G 21/00 3 8 6
G 0 3 G 21/00 5 0 0

(56)参考文献 特開2005-119136(JP,A)
特開2013-182495(JP,A)
特開2002-228466(JP,A)
特開2009-140488(JP,A)
特開2009-164977(JP,A)
特開2005-131984(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
H 0 4 N 1 / 0 0
B 4 1 J 2 9 / 3 8
B 4 1 J 2 9 / 4 2
G 0 3 G 2 1 / 0 0
G 0 6 F 3 / 0 4 8 - 3 / 0 4 8 9
G 0 6 F 3 / 1 2